

# 伊陸夢プランだより

第16号  
令和4年10月日発行  
伊陸地区コミュニティ協議会

## 「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也  
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

### 『文化祭 in いかち』

日時 令和4年11月3日（祝）午後1時から午後4時30分

場所 伊陸公民館・伊陸小学校

〈内容〉

○「いかちの今と昔」写真・映像展

○「クラリネット&ピアノ デュオコンサート」



平成30年3月に策定された「伊陸夢プラン」の課題解決策のひとつに、「コミュニティ・スクールの充実による学校と地域の活性化を進める」とあります。この課題解決策に対する取り組み方法の中に「伊陸地域活性化の活動拠点となるにふさわしい複合型学校施設案の検討・作成及び市への提案」があり、これについては令和2年9月に現在の新施設が完成いたしました。新たな複合型施設は、「家庭的で一体感のある“みんなの家、”」をコンセプトにした、小学校と公民館が一体化した建物となっています。子ども達と地域の皆さんが一つの建物に集い利用することで、伊陸地区のさらなる交流の発展を目指し、活動拠点となるよう願いが込められています。

音楽室は「まいかホール」と名付けられ、前面には地域の皆さんと子ども達が一緒に植えた芝生が一面に広がる「アソビの庭」が広がっています。「まいかホール」は窓が全開放できるようになっており、「アソビの庭」で鑑賞できるようになっています。去年は老人大学講座でサクソとピアノの「ミニコンサート」が行われました。夕日に照らされた芝生に癒され、素敵な音色に魅了された優雅なひとときでした。また、公民館側に設置された和室では、子ども達のクラブ活動として茶道教室が行われました。和服姿の先生から、和室での作法やお茶のお点前など学んでいました。施設の中央部にある「多目的スペース」では、他校の生徒や他地域の先生とのオンライン授業も盛んに行われています。地域の会議では、コロナ禍における密を防ぐ会議の在り方として、大変役に立っています。

そんな施設が完成して2年が経ちました。地域の皆さんから「中まで入ったことがない。」「用が無いと入りづらい。」といった声をよく聞きます。去年、「納涼の夕べ」に代わるものと

して、建物見学と写真展示を組み合わせた「いかちの今と昔」を企画いたしました。直前の新型コロナウイルスの爆発的な感染の広がりにより中止となりました。その後、多くの方から企画を楽しみにしていたとの声が寄せられました。

今回1年越しの企画実現の運びとなり、より多くの方に建物を見ていただき、今後の皆さんのコミュニティの繋がりに大いに役立てていただきたいと思います。併せて、写真や映像から時代の繋がりを感じ、ピアノとクラリネットの素敵な音色に耳を傾け、有意義な秋の一日をお過ごしください。

## 「伊陸夢プラン」(行動計画) ー防災・安全ー

「伊陸夢プラン」の活動項目【防災・安全】の課題解決策は「地域ぐるみで防災意識を高める」とあります。

近年、災害は激甚化・頻発化しています。今年9月18日(日)に通過した台風14号は、「戦後最大級の台風」と表現され、非常に怖い思いをしたのは記憶に新しいところだと思います。避難所となった伊陸公民館には、7世帯9人の方が避難して来られました。自宅が災害リスクが高い場所にある方はもちろんですが、一人で過ごすのは心細いから避難された方も多かったのではないのでしょうか? 「向こう三軒両隣」という言葉が機能しづらくなった現代社会において、地域ぐるみで助け合い「自然災害の犠牲者ゼロ」を目指し、安心・安全な地域を作る為に取り組むべきは何なのか、地域の皆さんと共に考えて参りたいと思っております。

「防災・安全」の取り組み方法の一つに「自主防災組織を作る」とあります。現在伊陸地区内で自主防災ができていいるのは、木部・下竹常・北畑・長野の4自治会です。

大規模な災害が発生した際、防災関係機関の活動が十分果たせなくなることが予想されます。このような事態において地域住民が的確に行動し、被害を最小限に止めるための活動が不可決になります。災害時において混乱の中、行政の支援だけを頼るのは限界があり、その間にも被害は拡大していきます。「自分の身は自分で守る」「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚や連帯感に基づいて自主的に結成する自主防災組織は、地域の防災力を高めるのに必要な組織です。いざという時の安心につながるのももちろんですが、自主防災組織を作る事により、様々な助成を受ける事も出来ます。災害時に必要な資機材の整備に活用するなど、自治会の負担を減らすことも可能です。まずは、できる事から取り組み、「自助」「近助」「共助」を基本理念とした組織づくりを目指して参りたいと思っております。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ■ 「伊陸地区コミュニティ協議会」の公式LINEを活用しませんか? ■

「伊陸地区コミュニティ協議会」では、地域の情報に加え、害獣情報なども公式LINEで発信しています。今後、地域内で大きな災害が起こった場合なども情報を発信していきたいと考えています。情報を共有することで、地域で協力して避難したり、二次災害の防止に繋がることを目指しています。離れて暮らすご家族が公式LINEに登録することで地域の情報を得ることができ、安心につながるのではないのでしょうか?

**離れた場所からの登録方法** : LINEのホームを開く → 「友達追加」 → 「検索」 →

ID「@474dxuce」を入力 → 「確定」 → 「検索」 → 「追加」(登録完了)